

掘師会 2021 年新春会報

(日本における地下掘削の技術向上並びに継承するために設立された会)

一般社団法人掘師会

東京都練馬区大泉学園町

理事長 内山 剛

1. 理事長挨拶



2020 年コロナ禍、志を持った皆様と一般社団法人掘師会を立ち上げることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

昨年中のオンライン意見交換会では多くの御提言をいただき感謝しております。本年から皆様とともに、ボーリング技術のスキルアップを図る勉強会を開催して参ります。引き続き皆様の御協力をお願い申し上げます。 内山 剛

2. 掘師会理事及び幹事紹介

担当	名前 (所属)
理事長	内山 剛 (有限会社ウチヤマ地質工業)
理事	小久保 鉄也・井手 一仁

3. 運営会議報告

開催日	2021 年 1 月 13 日	場所	オンライン打合せ	参加者	理事長、理事 2 名、幹事 2 名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近況報告 (コロナ渦の受注状況) ・今後の業界展望への意見交換 ・人材採用や育成 (外国の技能実習生の受入れ対応) ・ボーリング技術のスキルアップ (工場見学等でボーリングツールに関する知識を深める) 				

4. 本年の活動計画

(1) 「ボーリングツール」メーカーの工場見学会

① ダイヤモンドビット製造工程

千葉県工場。春以降 (コロナ渦であり、状況に応じて見学日を決める)。

② メタルクラウン製造工程

愛知県工場。春以降 (コロナ渦であり、状況に応じて見学日を決める)。

(2) 技術勉強会

テーマ及び日程を決め、技術力向上の勉強会を開催する。コロナ渦であり状況に応じて日程を決める。

写真は、ウチヤマ地質工業の勉強会風景。



5. トピックス

「2020年12月の閣議で国土強靱化計画前倒し」を決定！

国土強靱化計画が地質調査や地盤調査にどのように関わってくるかを見ていきたい。

1. 国土強靱化計画の経緯

年	地質調査や地盤調査に関わる内容を抜粋
2011年	東日本大震災で大きな被害が発生。道路や港湾の弱さがあらわになった。
2013年	「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が成立し、「国土強靱化計画」が生まれ、道路や港湾等を強靱化することが決まった。
2020年	「国土強靱化計画」のスケジュールを前倒しすることが閣議決定された。

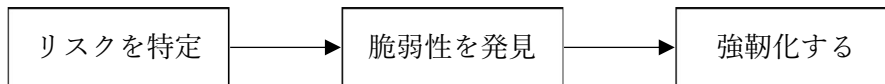
2. そもそも「強靱化」とは何か

国土強靱化計画の「強靱化」は、「強くしなやかに」という意味である。その「しなやかに」は何か起きたときに復旧しやすいことを意味している。つまり、国土強靱化計画は、重要建築物や道路や港湾等を強くするだけでなく、大災害が発生したときに復旧しやすいという意味を持っている。

3. 重要建築物・道路・港湾等の「強靱化」のステップ

重要建築物や道路や港湾等のリスクを特定し、脆弱性を発見し、必要な補修工事で強靱化する。なお、強靱化の反対語は脆弱性である。言い換えれば、国土強靱化計画は、脆弱な所を見つけて強靱にしていくことである。強靱化のステップは下の図の通り。

<図：強靱化のステップ>



4. 地盤調査や地質調査の役割、ボーリングの重要性

(1) 地盤調査や地質調査の役割

重要建築物・道路・港湾等を強靱化するための最初のステップは、「リスクを特定」することである。リスクを特定するためには、地盤調査や地質調査を行い、現状を把握することである。つまり、国土強靱化計画で、最初にやるのが地盤調査や地質調査なのである。

(2) ボーリングの重要性

地盤調査や地質調査で、ボーリングの重要性は言うまでもない。

5. 国土強靱化計画の前倒しの影響

昨年末に「国土強靱化計画の前倒し」が閣議決定されたことは、地盤調査や地質調査を前倒して実行することを意味し、今後数年でボーリング案件が増える可能性がある。建設関連業がビジネスチャンスをつかむためには、国土強靱化計画を意識した情報収集が大切である。

参考文献：内閣官房「国土強靱化基本計画」ホームページ掲載資料

執筆：2021年1月17日 小島康（事務局）

編集：掘師会事務局（合同会社コジマ）